

小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 瀧嶋 克己



平成 29 年冬休み号

No. 518

秦選手から笑顔を！ よいお年をお迎えください

校長 瀧嶋 克己



年の瀬を迎え、何かと慌ただしい時期となりました。来週 25 日（月）2 学期終業式を迎えます。

さて、12 月 13 日（水）に東京都のオリンピック・パラリンピック教育推進事業の一つ「夢・未来プロジェクト」を実施いたしました。

昨年度、募集があり見事本事業に当選した次第です。今回、ご講演・ご指導をいただいたのは、トライアスロン競技選手の秦由加子（はたゆかこ）選手です。秦選手は、13 歳の時にご病気で右大腿部を切断するということになり右足は義足でした。

小さい頃の水泳の写真や小学校 6 年生でマーチングバンドの指揮をされているお写真を見せていただきました。中学生で足に違和感を覚え、近くの病院に行くと大きな病院へと、そして即入院となったそうです。骨を削って足を残すのか。再発の危険を防ぐためには切断か。病院の判断や泣いて説得するご両親の姿から、13 歳で切断する決意をされたようです。

その後、中学校・高校の体育はすべて見学、友達が運動している姿や体育祭を見学するのも嫌だったという話をされていました。

講演を聴いている児童は、静かにその話に耳を傾けていました。

転機が訪れたのは、大学を出て会社に就職し、水泳をまた始めたことがきっかけのようです。講演会では、バイク（自転車）からラン（走る）への切り換え（トランジション）も見せていただきました。今までのことを乗り越えてきたからこそある、素敵な笑顔をたくさん見せていただきました。人は変わる。

・夢は自分のためだけじゃなくて、だれかのためにやると決めたら、あきらめることはできない。（5 年生児童の感想から）

■地域スポーツにチャレンジ（12 月 9 日）

当日は、監督やコーチはもちろん地域スポーツの保護者の方々にもご協力をいただきました。各種目ともボール慣れや優しいゲームなど工夫されていて子供たちが楽しんでいるのがよく分かりました。安全面にも配慮していただき無事終わることができました。子供たちにとって実りのある活動となりました。ありがとうございました。

最後になりましたが、保護者・地域の皆様方には大変お世話になりました。インフルエンザが低学年に出てきました。健康には十分ご留意され、どうぞよいお年をお迎えください。